
「後天性穿孔性皮膚症の病態解明を目指した

変性コラーゲンによる皮膚構成細胞に対する影響の遺伝子発現に注目した解明」

に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体と診療記録を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB 委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2003年01月01日から2024年12月31日の期間に埼玉医科大学病院皮膚科を受診し、後天性穿孔性皮膚症と診断され、検査を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

後天性穿孔性皮膚症の原因を解明することでより良い治療法の開発を目指します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027年03月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年04月25日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

皮膚生検時に採取した検体と診療録を参照して得た年齢、性別、併存症、透析の有無、腎機能、肝機能に関する情報を研究に使用致します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である小林 梓が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

後天性穿孔性皮膚症と診断された患者さんの検査を実施した際の検体、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学病院 皮膚科 小林 梓（研究代表者）
- ・東京薬科大学 薬学部 生化学教室 水野晃治

4. 試料・情報の管理責任者

＜提供元機関＞埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

＜提供先機関＞東京薬科大学薬学部生化学教室 水野 晃治

5. 試料・情報の提供方法等について

- ・＜試料＞追跡可能な輸送方法により、共同で解析を行う東京薬科大学薬学部生化学教室へ送付します。
- ・＜情報＞パスワードをかけた電子ファイルを、メールで送信します。

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

研究計画や研究実施に関する手続きの相談、研究により得られた結果等に関する相談がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

また、遺伝カウンセリングを受けることができます。希望される方は、研究責任者、主治医などにご相談の上、担当部署である埼玉医科大学病院 ゲノム医療科に電話でご相談ください。受付時間は平日9時から17時まで、連絡先は難病センター外来（049-276-1741）です。

なお、遺伝カウンセリングを受ける際には、別途費用が発生します。

埼玉医科大学病院 皮膚科 小林 梓

住所：〒350-0451 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1247（土日祝日を除く9：00～17：00）

○研究課題名：後天性穿孔性皮膚症の病態解明を目指した変性コラーゲンによる皮膚構成細胞に対する影響の遺伝子発現に注目した解明

○研究責任者：埼玉医科大学病院 皮膚科 小林 梓